

＜ イベント参加報告 ＞

***WEフェスタ2018 (11/8)** : 今回が初めての参加となる「WEフェスタ」、今年のテーマは「もったいないは世界につながる！」で、全国から寄付された不要品販売収益や、私たちのような出店参加団体の収益の一部が、貧困や紛争に苦しむ子どもたちに贈られました。主催の「認定NPO法人WE21ジャパン」は、主に神奈川県内にある50余りの店舗の通常の売り上げ収益でも、各NGO団体の女性や子ども支援活動を応援しています。私たちも長年「WE21ジャパンみどり」のご協力をいただいています。



民族衣装は会場を盛り上げた
評価いただいた当団体ブース

***鎌倉バザー(10/24)と菊名教会バザー(11/14)** : 両バザーとも参加歴が長く、以前に購入いただいた製品への助言等伺いました。前年度不参加の鎌倉会場では、出店を待っていたという顧客にも出会いました。COWHED製品はフィリピン国内市場拡大で、日本での販路拡大支援は必要ではなくなりましたが、これからも伝統織愛好者との出会いを楽しみたいと思います。

＜ お知らせ 例会・参加予定イベント ＞

毎月第2, 4木曜例会 : 13:30-15:00 本部事務局 (変更する場合があります。メール、お電話でご確認ください)
よこはま国際フォーラム 2019 : 2/2-3(土・日) 11:00-17:10 会場は JR 桜木町 15 分 JICA 横浜
当団体の講座 : 2/2 (土) 11:00-11:50 4階セミナールーム5 **物品販売** : 4階セミナールーム3
 当日入場券は700円です。ぜひご参加ください。

＜ 感謝 ＞

*** ご寄附ありがとうございました('18.10.21 ~'19.1.20)**

社員会員、定期支援賛助会員の皆様には、会費に加えて、助産所運営支援他ご寄附、ご協力をありがとうございました。

ここでは随時ご協力の賛助会員・一般市民のご寄附(年賀状などの書き損じ葉書・古切手、物品寄付含む)について、お名前を記載させていただきます。(個人情報保護のため、ホームページ用にはお名前削除させていただきました)

クリスマス特別ご寄付をありがとうございました！

チボリやピラーンの子どもたち、そして、未来の子どもたち(助産所)へのクリスマスプレゼントありがとうございました！49名の会員、市民の皆様から、計109,000円のご協力をいただき、12月初めのうちに、それぞれSCMSI, CMIP, PFP 及び助産所運営のPIHSに届けました。SCMSIやPFPの写真報告は本号に間に合いませんでしたが、例年同様、SCMSIは小学生へのプレゼント及び各学校でのパーティーを、また、ブラクールも特別給食を支援しました。(関連記事P2)

＜ 事務局 日誌より ＞

10/25 エマさん来局 (アガ・山崎) 11/8 WEフェスタ (相田・アガ・村山・香月・藤川・山崎) 11/8, 12/24 ホームページ更新 (高山) 11/9 金曜例会 (高山・中島・村山・藤川・山崎、PARCのビデオ「甘いバナナの苦い現実」鑑賞 11/18 菊名教会バザー (中島・山崎) 11/22 SCMSI里子のカード 里親に送付 12/7 CMIP奨学生報告会員へ送付 12/14 拡大理事会 (下段参照) 1/10 木曜例会 (アガ・村山・高山・香月・山崎) 1/15-25 会報96号編集作業 (恩田・相田・事務局)

第4回理事会(12/14)概報 : 理事5名(委任状参加2名)バザーバー2名の参加により、12月10日までの予算執行状況及び次年度予算原案を審議し、月例会を1月以降、第2.4金曜日から木曜への変更を決めました。

＜ 会 員 情 報 ＞

('19.1.20 現在)

＜退会＞ 社員 1 賛助 4 (長い間のご協力感謝申し上げます) <会員総数> 社員 44 賛助 229 (うち定期支援 196)

＜ 会 員 募 集 ＞

医療や自立事業支援会費 :	月額 1,000 円 (年 12,000 円)
教育全体支援会費 (又は小学生奨学金・給食支援) :	月額 500 円 (年 6,000 円)
ハイスクール生徒奨学金支援会費 :	月額 1,500 円 (年 18,000 円)
カレッジ学生奨学金支援会費 (新規支援について) :	月額 4,000 円 (年 48,000 円)
あしなが奨学金 (ブラクール出身カレッジ学生全体支援) :	月額 2,500 円 (年 30,000 円)
チボリ子ども支援 (SCMSI 校運営支援、里子支援) :	月額 2,000 円 (年 24,000 円)
(上記支援会費に加えて、運営費充当の月500円をご負担いただく社員会員も募集しています)	

＜編集後記＞

この時期平成最後という言葉をよく聞きます。当会報は、次回97号が平成最後になります。新元号のもと、来年1月の発行は100号です。これからも成果や課題を適切に伝えるニュースレターを目指したいと思います。(山崎)